貨物の受託と予約手続き

	項目	主 な 内 容
(1)	荷主による 輸送指示	口頭の指示、書面による指示
(1)		荷主指示書、その内容
	特殊貨物の受託	特殊貨物の種類
(2)		特殊貨物受託時の注意
		隠れた危険物
	貨物の予約手続き	予約の仕方、航空会社の予約業務
(3)		予約時に必須の情報
		予約した便で運ばれないケース

これまでの単元で、時刻表、航空機、ULD、空港施設、運送取扱、通関等について学んできたが、この単元では貨物運送事業者による貨物の運送引き受けについて学ぶ。

荷主による輸送の指示

Instructions for Carriage

1. 口頭の指示 Verbal Instructions

荷主は航空貨物代理店に、貨物運送の指示を口頭で行うことがあるが、指示内容の明確化のために、次に示したように、書面で行うことが多い。

2. 書面での指示 Written Instructions

荷主の指示書 (Shipper's Letter of Instructions) の書式は定められていないが、一般的には次のような様式が用いられている。

(Shipper's Letter of Instructions)

荷主はShipper's Letter of Instructionsによって、次のことを行う。

- (1) 航空貨物代理店に、荷主に代わってAWBを作成することを依頼する。
- (2) 航空会社の運送契約条件に同意することを確認する。
- (3) 貨物内容を適確に申告していることを保証する。
- (4) 危険物がある場合には、危険物規則に則って申告することを宣言する。

荷主指示書に基づく受託

Acceptance based on the Shipper's Letter of Instructions

荷主指示書 (SLI) は下記の項目をカバーしている。航空貨物代理店は、その内容をチェックした上で貨物を受託する。

4	***** I
1	石丁大人

2. 荷受人

3. 出発地空港

4. 着地空港

5. 経路·予約

6. マーキング・番号

7. 梱包の個数・種類

8. 品名

9. 総重量

10. 寸法

11. 運賃・その他料金

12. 運送申告価格

13. 税関申告価格

14. 保険

15. 取扱い指示

16. 日付·署名

Shipper

Consignee

Airport of departure

Airport of destination

Requested routing/booking

Marks and numbers

Number and kind of packages

Description of goods

Gross weight

Measurements

Air freight and other charges

Declared value for carriage

Declared value for customs

Insurance

Handling information and remarks

Date/signature

荷主指示書各項目の内容(1)

	項目	内 容			
1	Shipper	荷送人名、住所、郵便番号、国名、電話番号、ファックス番号等			
2	Consignee	荷受人名、住所、郵便番号、国名、電話番号、ファックス番号等			
3	Airport of departure	発地空港名または発地都市名 空港が複数ある都市の場合、荷送人は空港の選択を貨物代理店に任せることができる。			
4	Airport of destination	宛地の空港名 荷受人住所から同じ位の距離の空港が複数ある場合には、宛先空港をどこにするか を、貨物代理店に任せることができる。			
5	Requested routing/booking	荷送人は、特定の輸送経路、利用航空会社、便等を指定することができる。この場合、航空貨物代理店は、荷送人に相談することなく、これらを変更することはできない。荷送人が輸送経路等の選定に十分な知識を持っていない場合、航空貨物代理店が助言する。			
6	Marks and numbers	荷送人は、梱包上に記した記号と番号を記入。			

荷主指示書各項目の内容(2)

	項目	内容		
7	Number and kind of packages	貨物の梱包の数および荷姿(例えば、段ボール箱、ケース、木枠、かばん、ロール)を記す。複数の品目、複数の梱包からなる貨物の場合は、リストで示すことができる。		
8	Description of goods	貨物に含まれる品目は十分に詳細に記載されなければならない。「見本」「補修部品」 のような一般名称は認められない。原産地国、税関品目番号等も、この欄に示すこと ができる。		
9	g Gross weight 荷送人は梱包を含む貨物の総重量を記入。貨物代理店は貨物受託の際に計量行って確認する。単位はkgまたはlb.を使用する。運賃計算に使用される。			
10	Measurements	貨物の最大長・幅・高と個数、および容積を記入。単位はcmまたはin.を使用する。航空機への搭載可能性のチェックと、運賃計算に使用される。		
11	Air freight and other charges	荷送人は運賃発地払いか、着地払いかを記入。次の貨物は着地払いができない。 a. 荷送人と荷受人が同じ貨物 b. ご遺体、生きた動物、生鮮品、身回品 c. 着地国の通貨規則や貨物引渡し航空会社の規則により、着地国通貨での受取 が不可		

荷主指示書各項目の内容(3)

	項目	内容
12	Declared value for carriage	荷送人は運送に当っての価額を申告できる。価額を申告しない場合は、"No Value Declared"または"NVD"と記載する。
13	Declared value for customs	荷送人は通関のための価額を申告できる。着地国税関が求めていない場合は、 NCV(No commercial Value)またはブランクとすることができる。
14	Insurance	荷送人はAWBに保険金額を記載し、保険料を払うことにより、運送保険をかけることができる。この保険の内容は、航空会社によって異なるので、TACT Rules, Sec.8.3, Information by Carrierで調べる。
15	Handling information and remarks	荷送人は、航空会社によるハンドリングのために必要な事項を記入する。例: a. "Also notify" 荷受人以外の通知先b. SLIの添付書類c. "Fragile" "This Way Up"等の取扱い注意。生きた動物等の場合の連絡先。
16	Date/signature	荷送人はSLIをサインし、日付を記入する。これにより、荷送人は航空貨物代理店にAWBの発行を指示し、運送契約条件を受け入れたことを確認する。 航空貨物代理店は、SLIの内容をチェック、航空会社や国の規則等を調べて、貨物を 運送するために引受けることができるか否かを判断する。

出所: IATA Manual <u>Exercise</u>

特殊貨物の受託

Acceptance of Special Cargoes

1. 危険物 Dangerous Goods

(危険物ラベル)(危険物申告書)

2. 生きた動物 Live Animals

(TACT Rules, Acceptance)

(Shipper's Certification)

3. 貴重品 Valuable Cargo

(TACT Rules, Definition, Acceptance)

4. 腐りやすい貨物 Perishable Cargo (TACT Rules, ラベル)

5. 濡れた貨物 Wet Cargo

6. 遺体 Human Remains

7. 身の周り品 Personal Effects(Unaccompanied baggage)

8. においの強い物品 Strongly Smelling Goods

9. 超大型·重量貨物 Outsized or Heavy Cargo

10. 武器類 Arms, Ammunition, War material

11. その他の特殊取扱いを要する貨物 Other Cargo needing Special Handling

隠れた危険物 Hidden Dangerous Goods

次のような品名の貨物は危険物を含む場合があるので注意が必要

Aircraft Spare Parts	Expeditionary Equipment	Photographic Supplies	
Automobiles, Automobile Parts	Film Crew or Media Equipment	Promotional Material	
Breathing Apparatus	Frozen Embryos	Racing Car Team Equipment	
Camping Equipment	Fuels	Refrigerators	
Cars, Car Parts	Fuel Control Units	Repair Kits	
Chemicals	Hot Air Balloon	Samples for Testing	
COMAT(Company Materials)	Household Goods	Semen	
Consolidated Consignments	Instruments	Ships' Spares	
Cryogenic (Liquid)	Laboratory Testing Equipment	Swimming Pool Chemicals	
Cylinders	Machinery Parts	Switches in Electrical Equipment	
Dental Apparatus	Magnets	Tool Boxes	
Diving Equipment	Medical supplies	Torches	
Drilling and Mining Equipment	Metal Construction Material	Unaccompanied Baggage	
Dry Shipper(Vapour Shipper)	Parts of Automobile	Vaccines	
Electrical Equipment	Passengers Baggage		
Electrically Powered Apparatus	Pharmaceuticals		

出所: IATA Manual <u>Exercise 2</u> <u>Unit Review Exercise</u>

貨物の予約手続き

Cargo Booking Procedures

1. 予約の仕方 How to Make a Cargo Booking

1.1 概説 General

SLIと貨物の受取り、輸送計画の策定、航空便の予約(電話、ファックス、システム)

1.2 必須の事項 Mandatory Information Required by the Airline

次ページの「予約時に必須の情報」を参照

1.3 オプション事項 Optional Information

輸送中の注意事項 Special Service Request(SSR)

その他の情報 Other Service Information(OSI)

1.4 その他 Other Points to be Observed

予約した便以外の便・航空会社で運送されることがあることに注意 「予約した便で運ばれないケース」を参照

- **2.** 航空会社の予約業務 Airline Booking Procedures
 - a. 準備:便毎に貨物の搭載に使える重量と容積を把握しておく。
 - b. 予約リクエストに対して、OKを出すごとに、その貨物の重量と容積を差し引いていくことにより、残重量、残容積を把握する。
 - c. 多くの航空会社が、コンピュータ化した予約システムを採用している。

予約時に必須の情報

Mandatory Information Required by the Airline

L 航空運送状番号 Air waybill number

2. 個数 Number of packages

3. 重量 Weight of the shipment

4. 品名 Nature of the goods

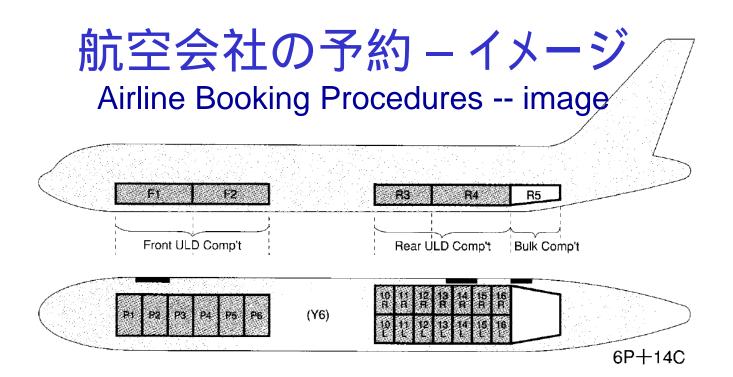
5. 寸法/容積 Dimensions/volume or density of

the shipment

6. 発地空港·着地空港 Airport of departure and arrival

7. 輸送経路の要求 Requested routing

8. コンタクト先 Reference



		(tons)			(kgs)	(cu.m)
	Take-off Weight	220		Available for Cargo	18,000	120.00
-)	Aircraft Weight	130	-)	Booking 1	1,250	6.25
-)	Fuel Weight	45	-)	Booking 2	739	7.39
-)	Passenger Weight	20	-)	Booking 3	4,600	23.00
-)	Mail Weight	7	-)	Booking 4	2,861	31.78
	Available for Cargo	18	-)	Booking 5	5,962	39.75
				Remaining Wt and Vol	2,588	11.83

便に搭載可能な重量と容積から、予約リクエストがあった貨物の重量と容積を引いていく。

予約した便で運ばれないケース

Circumstances that might prevent airlines from carrying cargo on the booked flights

航空会社は、貨物を予約通りの便に搭載すべく最大限の努力をするが、予約便で運送されないこともある。その原因として次のようなケースが挙げられる。

1. 気象状況(霧、雪、雷、台風等)

Weather conditions

2.技術的問題(機材変更、機材不具合等)

Technical reasons

3. 運送禁止(戦争、テロ、爆弾予告等)

Embargo of cargo

4. 不可抗力(地震、自然災害等)

Act of god

5. 郵便出荷量(契約により郵便を優先搭載)

Mail

6. 航空機部品(運用中の航空機の部品)

Spare parts for aircraft on

ground(AOG)

なお、運送約款では予約便への搭載を保証していない。

出所: IATA Manual

Exercise